

屋外木材面の耐久・透明防水工法

セブンコートN工法

標準施工要領書



株式会社 セブンケミカル

素地調整

1. 汚れ・異物付着等

- (1) 塵埃、飛来異物等は、ブラシや研磨紙ずり等により除去します。
- (2) ワックス、油脂等が表面に付着している場合は、研磨紙ずり、シンナー拭き等により除去します。その他の人為的汚れについても同様に除去します。
- (3) 微生物（微、藻等）の汚れは、ブラシや研磨紙等による除去と、アルコールや漂白剤拭きを併用し、十分に除去します。

2. 木材特性

- (1) ヤケ、表面変退色が見られる場合は、研磨紙ずりやかんな掛け等でフレッシュな表面にします。
- (2) ひび割れ箇所は、幅が 0.3 mm未満で小さい場合は、セブンコート N 下塗り後、中塗り材を用いて充填処理します。0.3 mm以上の大きなひび割れは、部分除去もしくは交換するか、事前了解を得て透明シール材を充填します。
- (3) 木肌に節のある場合は、セブンコート N 下塗り後、節部分に中塗り材を増し塗りしてください。節界面に目立つひび割れがある場合は、セブンコート N 下塗り後、透明シール材を充填してください。

3. その他

- (1) 既存のシーリング材打設箇所は、セブンコート N 塗装をしません。テープ養生やビニール養生等を行ってください。
- (2) 止むを得ず、塗装仕上げが必要な場合は、弊社にご相談ください。
- (3) セブンコート N 塗装前に、木材面は十分乾燥させてください。

コート N 工法

工程		使用材料	希釈 (重量%)	塗付量 (kg/m ²)	工程時間 (時間)	施工方法
1	下塗り	セブンコート N シーラー	無希釈	0.12 ~0.2	3 以上 24 以内	中毛ウールローラー
(2)	増し塗り (該当箇所)	セブンコート N 中塗り	無希釈	0.3 ~0.5	3 以上 168 以内	刷毛・ヘラ等
3	中塗り(1)		水 0~3	0.3 ~0.5	3 以上 168 以内	細目砂骨ローラー (中塗りは気泡混入しないよう事前攪拌)
4	中塗り(2)		水 0~3	0.2 ~0.3	16 以上 168 以内	細目砂骨ローラー又は 中毛ウールローラー
5	上塗り (半艶・艶有)	セブンコート N トップ	無希釈	0.10 ~0.15	2 以上 168 以内	中毛ウールローラー
6	上塗り (半艶・艶有)		無希釈	0.10 ~0.15	24 以上 (最終養生)	中毛ウールローラー

- (1) 塗装前に木材面が十分乾燥していることを確認します。
- (2) 塵埃、油脂汚れ、微生物汚染等は事前に除去します。
- (3) ヤケや変退色が部分的に発生している場合は、研磨紙ざり等で除去します。
- (4) セブンコート N シーラーは、所定量を中毛ローラー、端部等は刷毛を用いて、塗り残しの無いよう均一に塗装します。
- (5) 節や微小ひび割れ箇所は、セブンコート N 中塗りをを用いて増し塗りします。比較的大きいひび割れのある場合は、事前相談後、透明シール材を充填します。
- (6) セブンコート N 中塗りは 2 回塗りです。1 回目は 0.3~0.5kg/m²を、2 回目は 0.2~0.3kg/m²を細目砂骨ローラーを用い、木目に沿って均一に塗ってください。1 回目と 2 回目の間隔時間は、3 時間以上 168 時間以内です。通常は無希釈ですが希釈する場合、中塗りは気泡が混入しないよう 1~3%の水で希釈し、均一に混合してください。
- (7) 中塗り塗装後 16 時間以上 168 時間以内で十分乾燥させてください。
- (8) セブンコート N トップは、2 回塗りです。所定量を均一に中毛ローラー塗りします。1 回目と 2 回目の塗装間隔は、2 時間以上 168 時間以内です。
- (9) 半艶上塗りの場合は、艶消し剤が分離・沈降している場合がありますので、気泡を混入させないよう均一に混合してください。
- (10) 上塗り後は、24 時間以上雨養生してください。
- (11) 既存のシーリング材処理箇所は、セブンコート N を塗らないでください。
- (12) 素地が難燃剤処理木材の場合、および金属汚染(鉄汚染)が発生する恐れのある場合は、セブンコート N シーラー(S)[溶剤系]を使用してください。また、その際は事前に弊社の技術部までご相談ください。

セブンコート N 標準工法 施工要領

●はじめに

セブンコート N シリーズは透明仕上げの為、別材料を塗装したものや、汚れたローラー、ハンドル、攪拌棒等は使用しないでください。また、木材表面が十分乾燥していることを確認してください。

1. 下塗り

- (1) 素地調整が十分行われていることを確認後、下塗り工程を行ってください。
- (2) セブンコート N シーラーは、ハンドミキサー等で均一に混合し、無希釈で塗装します。
- (3) 中毛ウールローラー塗りにより、塗り残しや塗り継ぎが生じないように均一に所定量を塗付けます。

2. 増し塗り（入隅、出隅、微小間隔の木材板継ぎ目部分等に適用します）

- (1) 下塗り後、小刷毛・ヘラ等を用いて適用箇所にセブンコート N 中塗り材を増し塗りします。
- (2) 出隅、入隅等の膜厚が薄くならないよう、滑らかに塗付けます。
- (3) 節目箇所、微小ひび割れ箇所も同様に塗付けます。

3. 中塗り

- (1) 下塗り面を指触確認し、下塗りの乾燥（目安として3時間以上）後、中塗りします。
- (2) セブンコート N 中塗り材を希釈する場合 0～3%（重量比）で水希釈し、均一に混合してください。混合方法は、気泡が混入しないよう低速攪拌機または攪拌棒などで静かに攪拌します（通常の高速ハンドミキサーは泡混入が多く、使用不適です）。
- (3) 中塗り 1 回目は、細目砂骨ローラーにセブンコート N をたっぷり含ませ、気泡が混入しないよう、配り塗り、仕上げ塗りし均一に仕上げます（木目の方向に沿って仕上げ塗りします）。
- (4) 一度に腕を伸ばし何度もしごき塗りすると不均一な仕上がりとなり、仕上げ不良になります。
- (5) セブンコート N 1 回塗り面の乾燥硬化（目安として3時間以上）後、透明になってから細目砂骨ローラー又は中毛ウールローラーを用いて 2 回目のセブンコート N 中塗り材の所定量を気泡が混入しないよう丁寧に仕上げます。

4. 上塗り

- (1) 中塗り塗装翌日以降、乾燥硬化を確認後、上塗り工程を行う。
- (2) セブンコート N トップは、ハンドミキサー等を使用して均一に混合する。上塗り材の半艶では、艶消し剤が沈降して分離状態になっている場合もありますので、ハンドミキサー等で缶の底部まで十分混合するよう特に注意してください。
- (3) 中毛ウールローラーにより、塗り残し、塗り継ぎの生じないように木目方向に均一に塗り付けます。なお、中塗りも含めて透明仕上げのため、塗り残し、塗りむらのないよう十分注意が必要です。
- (4) セブンコート N トップ 1 回塗り面の乾燥（目安として2時間以上）後、中毛ウールローラーを用いて 2 回目のセブンコート N トップを 1 回目同様に仕上げます。
- (5) 仕上げ面は、十分乾燥硬化させるよう、24 時間以上乾燥養生します。

- (6) セブンコート N の中塗り層は、透明な塗膜のため、上塗りの際塗り残しが発生しやすいので必ず2回塗りをしてください。塗り残し箇所は経年で汚れの付着があります。

施工全般における注意事項

1. 気象条件

(1) 気温変動への注意

低温（気温 5℃以下）の場合、樹脂膜の乾燥硬化に支障をきたす場合があるため、施工を避けてください。高温（気温 35℃以上、壁面温度 30℃以上）及び湿度 85%RH 以上の場合、塗膜乾燥、ローラー作業性、仕上げ性及び耐久性能に支障をきたす場合がありますので、施工を避けてください。

- (2) 降雨・降雪の恐れがあるときは、施工を避けてください。セブンコート N シーラー及びセブンコート N 中塗り、セブンコート N トップ施工後、一度透明になっても降雨が当たると吸水し、塗膜の白濁、透明乾燥を繰り返す場合があります。冬場から春先に向け降雨の心配な場合には予め軒養生などをして頂くことをお勧めします。

- (3) 風速 5 m/sec 以上のときは、塗材の飛散被害・塗付けムラ等の支障をきたす恐れがありますので、十分に風養生対策を行うか、施工を避けてください。

- (4) 塗付け途中、又は乾燥途中で急に雨が降ってきたときは、少なくとも塗膜が乾燥するまで天幕などで覆って流出しないようにしてください。

2. 素地ごしらえ

- (1) 木材面に不良箇所があれば、事前に十分に補修を行ってください。

- (2) 木材面に塗装してある場合は、仕上がり意匠が異なる場合もありますので、予め管理者に了解を得てください。

3. 塗装の注意

- (1) セブンコート N 仕上げにより、未塗装木材面と多少仕上りの意匠が変化しますので、予め発注者に承認を受けるようにしてください。

- (2) セブンコート N 中塗りに清水を入れ攪拌する場合、高速回転の機械を使用すると気泡が混入して抜けませんので、低速ハンドミキサー又は攪拌棒で気泡を混入させないように、静かに攪拌してください。

- (3) 木材表面に微小なひび割れや節目が発生している場合は、セブンコート N シーラー塗装後、セブンコート N 中塗りをひび割れ部に 0.3~0.5kg/m²、刷毛又はゴムベラ等で増し塗りを行い、乾燥後中塗り工程に入ってください。

- (4) 各工程の塗材塗装後すぐに塗面を養生シート等で密閉すると、養生シートと塗膜が接着し剥がれなくなることがありますので、養生シート等で密閉しないように注意してください（逆養生が不要となる手順を考えてください）。

4. その他（保管等）

- (1) セブンコート N 各製品は、5°C以上 35°C以下の場所で保管してください。
- (2) 「3. 塗装の注意」及び SDS を確認してください。
- (3) 居室等の内装で使用する場合、塗料扱い時や塗装時には換気・通気に十分注意してください。
- (4) 材料は、風雨・直射日光を避け、必ず冷暗所で保管してください。

使用材料一覧表

製品名	容量	荷姿	備考
セブンコート N シーラー (特殊アクリル樹脂水系)	15kg	石油缶	水系 1 液下塗り
	4kg	ポリ角缶	
セブンコート N 中塗り (アクリルシリコン樹脂水系)	14kg	石油缶	水系 1 液中塗り
	4kg	ポリ丸缶	
セブンコート N トップ 半艶・艶有 (水系フッ素樹脂系)	15kg	石油缶	水系 1 液上塗り
	4kg	石油缶	

※セブンコート N トップは半艶を推奨します。



株式会社 セブンケミカル

〒105-0011

東京都港区芝公園 2-4-1 芝パークビル A 館 1 2 階

TEL 03-6809-2597

FAX 03-6809-2598

<https://www.seven-chemical.co.jp/>